

# 物流の合併会社を設立

## TAKADAと伊藤忠テクノソリューションズ

関東での配送事業を行うタカダ・トランスポートサービスを傘下に持つTAKADA（高田輝成社長、さいたま市）は、伊藤忠テクノソリューションズ（柘植一郎社長、東京都千代田区）とともに、インテリア系大型商品の配送を行う物流の合併会社「Tri Value」を設立、9月から物流クラウドサービスを活用した大型家具を中心とした配送元請け事業を開始した。社長には、高田氏が就任した。

小売業において活用した様々な顧客体験の変化が起こっているが、実際の商品を配送する物流については、人手不足の中での需要増への対応や、消費者ニーズに即した対応、宅内サービス提供に必要となる技術の強化など、まだまだ多くの課題があるという。

新会社のTri Valueは、インテリア系大型商品配送の元請事業者として、家具のメーカーや小売業の顧客に配送や倉庫を含めた物流サービスを提供する。

を最適化するクラウドサービス「MAMS」を提供しており、今回、新会社は同サービスを活用し、効率的な共同配送サービスを実現するDX（デジタル・トランスフォーメーション）を実践するとしている。

伊藤忠テクノソリューションズは、2011年からPOSやECシステムと連動して配車計画を自動作成し、輸配送

今回の新会社設立について両社は、「さらなるサービスの追加や対応エリアの拡大、配送可能な積み荷の拡充に努め、安全で効率的な物流サービスの提供を行いたい」としている。

（高田直樹）